

## 平成29年度町政懇話会 議事概要

日 時：平成29年10月6日（金）  
10時00分～11時30分  
場 所：生涯学習センター

出席者：間宮町長、井上副町長、夏苺教育長、米山生活環境課長、石田地域振興課長、水上地域振興課副課長、植松生活環境課副主幹

事務局：湯川町民課長、清水副課長、皆木副主幹、小笹主任主事

参加者数：12人

### 1 開会

町民課長より開会のあいさつ

### 2 町長あいさつ

間宮町長よりあいさつ

### 3 出席者紹介

出席者よりあいさつ

### 4 テーマ別説明

(1) (仮称) 大井中央公園整備について 生活環境課長より説明

(2) 相和地域活性化について 地域振興課長より説明

### 【質疑・応答】

- (仮称) 中央公園のトイレの位置はどこですか？トイレの数は1つしかないのか？子どもたちが遊ぶ遊具の近くが良いとワーキング時に伝えたはずだが。トイレを2つ設置することは可能なのか？子育てしているお母さん達に配慮してほしい。また、公園の中で日陰になる場所はどこなのか？東屋は屋根があるものなのか？パーゴラは日陰にもならず、雨にも濡れるのでやめてほしい。芝生広場の中にも植栽のできる日陰はあるのか？特にせせらぎで遊んでいる子どもを見守る時のお母さん達の居場所がない。

→ 憩いゾーンの中で役場庁舎側です。この広さの公園だと1カ所が標準と聞いている。位置については、子どもが遊ぶ遊具付近に変更となると設備関係等検討しなくては行けないが、修正は可能である。ご意見として伺っておく。東屋はパーゴラではなく屋根があるものである。芝生広場の外周に桜を植樹する予定である。水辺付近にはシンボルツリー的な木を植樹予定であるので日陰ができるだろう。ただ、東屋は予定していないが、修正は可能である。砂場については、管理が難しい所はあるが、遊具設置の北側をフリースペースにして設置も可能だと考えている。リスク回避しないといけないので、その時には町民の方にも協力願う。

- (一部訂正) 東屋が2カ所と回答したが、芝生の広場にも設置する予定である。砂場についても1カ所は設置するという事で設計している。
- (仮称) 中央公園の基本設計のワーキングメンバーでいろいろ意見を言わせてもらったが、実施設計するには位置などの変更も可能と聞いたので、期待する。ワーキング時に公園を作るだけでなく、管理運営を町民の力でできるような仕組みづくりができないかと発言したが、親しみが持てる公園は自分達の手で運営したり、アイデアを出したりすることで持てると思うので、管理運営はボランティアなどで町民の手でできるようにしてほしい。協働事業になると思う。障がいのある方もいける公園にもしてほしい。進化する公園として、多様な方が利用できる親しみのある公園として仕組みづくりをしてほしい。遊具を検討する際にも利用者の意見を聴くなどしてほしい。町民の声が反映した公園にしてほしい。
- 基本方針にもあるように、公園の管理運営は、町民の方の力、ボランティアなどの参加は重要と考えている。進化していく公園にしていきたい。広い面積があるので、管理運営はいろいろな力が必要になると思われる。協力してもらえるゾーンなど検討し、協力いただく。いろいろな方法があると思うので検討していく。例えば、車いすの方でも作業できる中央付近の花壇など、全てが希望に沿えるか不明だが検討していきたい。
- (仮称) 中央公園の広さを教えてほしい。中学校のグラウンドと同規模の広さか？基本設計の中での各ゾーンの使い方は？例えば、芝生広場で何をするのか？今後、公園に関する意見を言える機会はないのか？
- グラウンドより大きいイメージです。当初、芝生広場の右側半分は調整池だったが、地下式になった関係で地上を広場として利用できるようになったが、いろいろ制約がある。利用については、寝転んでみたり、走り回ってみたりするイメージである。イベントなどにも利用できると思う。ソフトボール大会など周りが危険となるような球技はできない。公園の制約については、事務局としても悩んでいるところではあるが、一定のルールは作る。意見があれば、その都度何うし、取り入れられる意見は取り入れていきたい。
- 相和地域活性化について、都会の人からすればこの地域は素晴らしい所であると思う。2020年にはオリンピック、パラリンピックが開催され、外国人が近場で自然を楽しむことができるよう情報誌を外国語版で作成したり、ソウルフード的にそば体験できたり、外国語が話せる職員がいれば通訳するなどの働きかけが必要。町ホームページにフェイスブックがあるが、写真だけではなく、動画も掲載したらどうか？見る側は、動画もあると楽しいと思う。箱根連山と富士山が見える場所としてアピールする必要があると思う。
- 外国人への対応は意識しているが、交流体験事業の普及はまず地元の方が本気になってもらうことが課題だと思う。資格取得やメニューを増やすなど重点的にやっていく。動画についても今後有効に使っていききたい。ゆめの里から見える桜と富士山などについても素晴らしいので、いろいろと活用しているが、まだまだPRできると認識している。これからも情報発信していく。

- 町の担当課の繋がりが無いように感じる。企画財政課へお試し住宅の資料をもらいに行った時、町のことをよく知ってもらうためか、地域振興課発行のパンフレットなどがいろいろ配架されていた。地域振興課では、他課発行の資料等は配架していなかった。どの課へ行ってもらえるように工夫したらどうか？いろいろ連携したらどうか？

→ 意見として伺う。

## 5 閉会

井上副町長より閉会のあいさつ